

現地農業情報（沖永良部島・与論島）令和6年7月

（1）稼げる農業を目指して「新規就農者が抱負」

7月5日、和泊町えらぶ長浜館で令和5年度に新規就農した和泊町6人、知名町4人のうち8人、関係機関を含め60人が参加し、新規就農者励ましの会を開催しました。新規就農者は自己紹介と併せて「島の農業の発展に貢献していきたい」、「面積を増やし、稼げる農業を目指したい」、「新しい作物にも挑戦したい」など抱負を述べました。両町長の励ましの言葉、指導農業士会からの記念品贈呈、支援組織や4H Cの紹介などを行い、関係機関一体となって激励しました。



（2）沖永良部地区農業青年クラブ連絡協議会総会を開催

7月5日、和泊町えらぶ長浜館で、沖永良部地区農業青年クラブ連絡協議会総会が開催されました。総会では、令和5年度活動実績報告、令和6年度活動計画案並びに役員改選が承認されました。令和5年度は、群島交流会や青年農業者会議など4年ぶりに計画どおりの活動を行えたと報告がありました。また、来賓の指導農業士から励ましのことばもあり、クラブ員もやる気をみなぎらせました。沖永良部地区農業青年クラブ発展のため、関係機関一同、今後も引き続き支援を続けていきます。



（3）「牛も人も十分な暑熱対策で酷暑を乗り切ろう」子牛セリ市前研修

7月3、4日、沖永良部家畜市場で子牛セリ市前に牛の暑熱対策研修会を実施し、肉用牛農家約40人が出席しました。暑熱対策では、送風機の清掃による風量確保、十分な飲水量確保で、繁殖牛の発情徴候も弱くなる夏場の観察徹底を呼びかけました。また、メーカーの協力を得て実施した細霧装置の暑熱対策実演では、温度低減効果を農家が実体験しました。農業普及課では、農作業安全対策や熱中症予防も徹底するよう呼びかけました。

(4) 生産牛とさとうきびの耕畜連携による生産性向上を学ぶ

7月11日与論町で農業普及課と指導農業士会の共催で、耕畜連携研修会を開催しました。さとうきびと生産牛の新規就農者・指導農業士・耕畜連携参加農家や関係機関34人が参加しました。室内研修は耕畜連携の取組経過、さとうきび・牧草の栽培管理、堆肥生産について学び、現地で耕畜連携ほ場の牧草生育むらを確認して、土壌の低pH対策や施肥方法について学びました。耕畜連携ほ場の土壌・雑草管理について、耕畜両農家がやるべき作業の意見交換ができ、今後の広がりが期待されます。

(5) えだまめ春季栽培反省会を開催

6月27日、知名町役場でえだまめの春季栽培反省会が、えだまめ生産者、くみあい食品株式会社及び関係機関が参加して開催されました。令和6年春作のえだまめの出荷量は3,842kg、販売額は2,374千円となりました。生産者からは不織布による被覆栽培で害虫被害が軽減されたという意見があり、今後全体への周知を図っていきます。また、脱莢機や袋詰機、洗浄機を導入予定であり、生産者と関係機関が一丸となって、生産拡大への取組を進めていきます。

(6) 「咲八姫」の安定生産に向けた検討会を開催

7月9日、沖永良部花き専門農協にて令和6年度「咲八姫」出荷反省会が開催され、生産者、関係機関含め18人で、今期の反省と来期に向けた取組を検討しました。過去の試験結果と栽培事例をもとに栽培指針を見直し、出荷時期ごとの球根サイズ、冷蔵期間、定植日の具体例を提示しました。生産者からは、3月出し栽培が可能となり、作期拡大の手応えを感じさせるコメントもありました。今後も生産者、関係機関が協力して生産安定を目指します。



今後も生産者、関係機関が協力して生産安定を目指します。